



# 葉山小だより

「自分で考え 行動する子」「仲良くする子」

令和4年度  
No. 13

2022. 11. 25

葉山町立葉山小学校

校長 安達 禎崇

「葉山小だより」はペーパーレス化を行っています。

★葉山小のホームページ [https://www.town.hayama.lg.jp/e\\_hayama/index.html](https://www.town.hayama.lg.jp/e_hayama/index.html) をご覧ください。

★紙媒体での提供を希望される方は担任までお申し出ください。

## ◇◇被爆体験を聞く(5年生)◇◇

11月9日(水)。5年生が平和学習の一環として、神奈川県原爆被爆者の会葉山支部会長の福島さんと、副会長の西さんをお招きして、被爆体験を伺いました。お二人は幼少期に被爆されました。その後、生き残ったご家族や親類の方々等から伝えられた当時の様子や、ご自身で調べたことも含めて「自分の身に起きたこと」を語ってくださいました。特に被爆直後及び翌日にかけての様子については、語っているご本人が一番辛いだろうと思われる、凄惨な内容も含まれており、戦争の悲惨さ、原爆の怖さがひしひしと伝わってきました。今、世界に目をやると「核」という言葉が飛び交っています。子どもたちも「同じ過ちを二度と繰り返してはならない」というお二人の言葉を受け止められたのではないかと思います。



## ◇◇「50年後もおいしいマグロを」(3年生)◇◇

めぐみ



11月11日(金)、三崎 恵 水産の石橋社長をお招きし、3年生が社会科学習の一貫として「マグロ加工」に関する出前授業を受けました。始めに石橋さんから「皆さんは今日の授業が終わると、①マグロ博士になれます。②SDGsについて、何となく分かります。③マグロが食べたくなります。」と伝えられ、授業開始。三崎のマグロ魚の歴史、マグロの種類や捕獲方法、部位の名前、成長にかかる期間、育てる漁業・資源を守る漁業、水産加工と自然にやさしい工場、廃棄物リサイクルなどのお話を伺い、最後は「50年後もおいしいマグロが食べられるように、今できることをがんばっています」と締めくくられました。

「水産加工業界はずっと昭和のスタイルが続いていますが、恵水産では将来を見つめ新しい形をつくろうと、徹底した脱プラスチック、ソーラ一発電による電力供給、加工廃棄物を出さない(堆肥化)などに取り組んでいます。」というお話も、3年生なりにいろいろと考えるきっかけになったことでしょう。

## おめでとう！ 町「地域安全標語」優秀賞

地域安全標語 優秀標語 2年生Aさん※「つくろうよ オレオレ言わせぬ 合言ば」

※ 受賞者のお名前(A)は、校内全クラスで紹介しました。また、紙媒体版の学校だよりには載せています。

## ◇◇すぎのこハロウィン(杉の子学級)◇◇

11月10日(木)、杉の子学級で「すぎのこハロウィン」が行われました。めあては、「みんなでおばけパーティーを楽しもう」/「グループのみんなと仲良く工作をしよう」/「おばけなんてないさを楽しく歌おう」です。実行委員を中心に司会・スライド・おばけづくり・招待状など、自分たちで役割分担して準備をしました。当日はルールを守り、友だちと協力して、お化け屋敷に入ったり、カボチャ作り(工作)をしたりして楽しむことができました。



けななんてないさを楽しく歌おう」です。実行委員を中心に司会・スライド・おばけづくり・招待状など、自分たちで役割分担して準備をしました。当日はルールを守り、友だちと協力して、お化け屋敷に入ったり、カボチャ作り(工作)をしたりして楽しむことができました。

## ◇◇環境学習・ウニ堆肥(木枠)を設置◇◇

三浦半島の海ではムラサキウニが大繁殖し、海藻類が無くなる「磯焼け」の被害が深刻です。大繁殖したウニは中身が空っぽで食用にはなりません。葉山では、ダイバーや漁師、企業の研究室、老舗の日本料理店らが連携して、磯焼けの要因となっているウニを除去し、堆肥化して地元農業に活用する動きが進んでいます。ここで作られたウニ堆肥を、「学校の畑でも使ってみませんか?」と、この活動に取り組んでおられる保護者の方からお話をいただき、まず10月4日(火)の委員会活動で、バケツ2杯分のウニ堆肥を職員室前畑の植栽で試してみることにしました(左下写真)。そして今後、SDGsや環境学習の一環として、この堆肥を継続的に学校の畑で使えるようにと、11月19日(土)、一般社団法人葉山の森保全センター(HFC)さんのご協力により、ウニ堆肥の木枠を職員室前校庭フェンス脇に設置していただきました。朝顔やヒマワリ、また野菜作りなどの活動の際に、「この堆肥はウニから作られている」こと。また「どうしてウニを駆除しているのか」等を知ることから、葉山の環境問題を学ぶきっかけになってほしいと思います。ご協力いただいた関係の方々感谢您的感謝しております。



## ◇◇今年もビオトープの修繕をしていただきました◇◇

11月5日(土)PTAによる「逃走中」が終わった午後、昨年度来ボランティアとして来てくださっている保護者の方(お父様2名)が、ビオトープの修繕をしてくださいました。昨年度は上流部、そして今回は主に中流域の防水加工をしていただきました。今回、3回目の工事でしたが、お父様のうち1名の方は、他の休日にも施工をしに単独、来てくださっていて、本当に頭が下がります。ビオトープ環境は、また一歩前進しました。子どもたちの憩いの場所であり、授業でも活用されているビオトープ。保護者ボランティアの皆様のお力を借りながら、今後も少しずつ、整備を進めていけたらと思います。ご協力いただいた方々、ありがとうございました。

